

2019年3月期
決算説明会資料

2019年5月17日
(株)フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2019年3月期 連結決算概要

2018/4 ~ 2019/3

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期増減		通期 業績予想 (2/5)	対通期予想 達成率	
売 上 高	646,536	669,230	22,694	3.5%	654,000	15,230	102.3%
営 業 利 益	25,258	34,709	9,451	37.4%	32,500	2,209	106.8%
経 常 利 益	35,120	41,975	6,855	19.5%	39,100	2,875	107.4%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	24,956	23,627	1,329	5.3%	25,000	1,372	94.5%

セグメント別の売上高及び営業利益

2018/4 ~ 2019/3

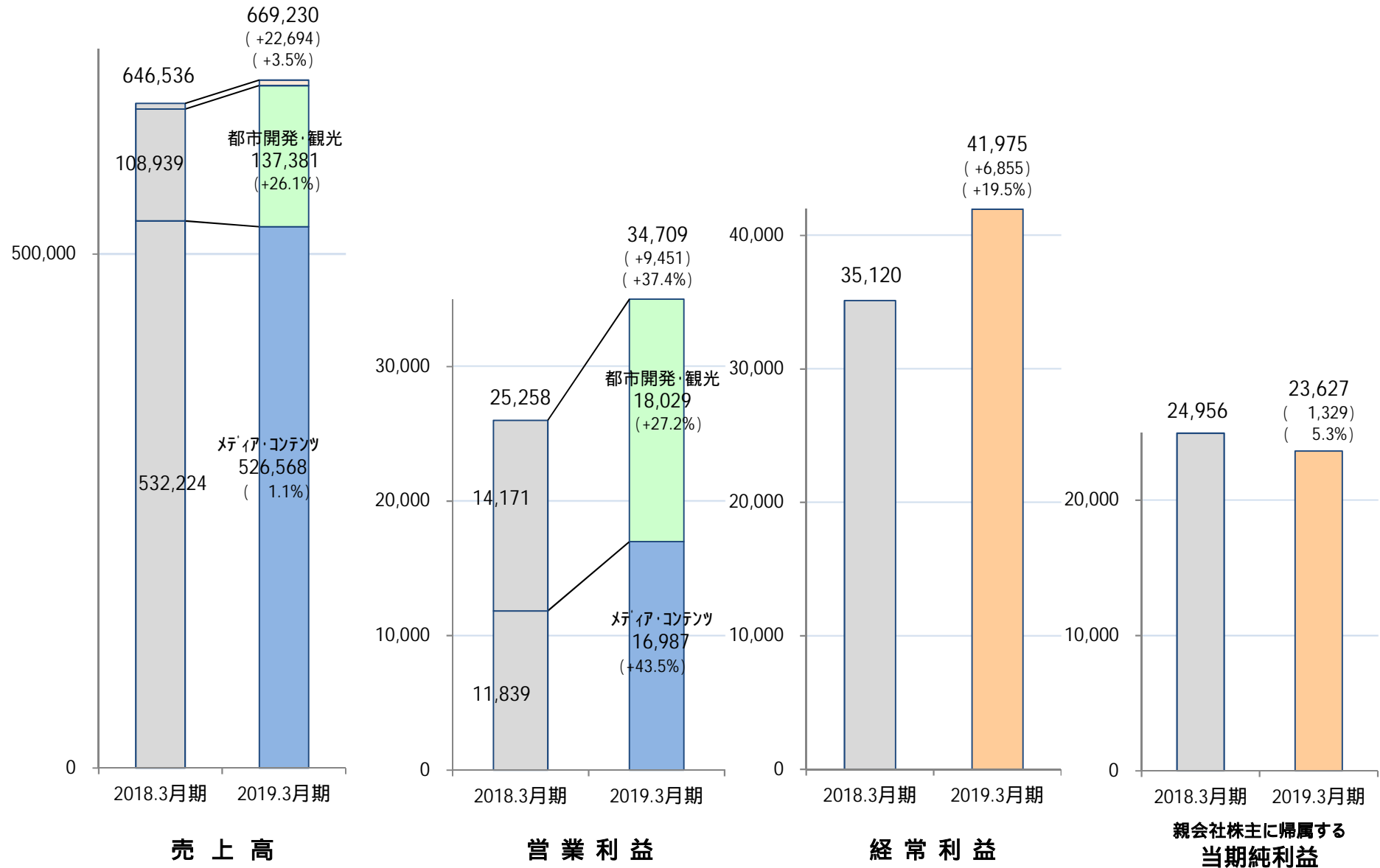
(単位:百万円)

	事業セグメント				合計	調整額	連結損益 計算書額
	メディア・ コンテンツ 事業	都市開 発・ 観光 事業	そ の 他 業 務				
売上高	当期	526,568	137,381	19,062	683,012	13,781	669,230
	前期	532,224	108,939	20,105	661,269	14,732	646,536
	増減	5,655	28,441	1,042	21,743	951	22,694
	増減(%)	1.1%	26.1%	5.2%	3.3%	-	3.5%
営業利益	当期	16,987	18,029	555	35,573	863	34,709
	前期	11,839	14,171	662	26,673	1,415	25,258
	増減	5,147	3,858	106	8,899	551	9,451
	増減(%)	43.5%	27.2%	16.1%	33.4%	-	37.4%

2019年3月期 連結決算概要 (前期比較)

(単位:百万円)

前期の「メディア・コンテンツ」には、前期末に連結子会社の範囲から外れたサンケイリビング新聞社、リビングプロシード、ポニーキャニオンエンタープライズの3社等が含まれています。



通期決算(4月-3月)業績のポイント

連結営業利益347億円 増収営業増益

メディア・コンテンツ

フジテレビ

- 映画「劇場版コード・ブルー」「万引き家族」「マスカレード・ホテル」の大ヒットや、シルク・ドゥ・ソレイユ「キュリオス」、「フェルメール展」などの好調な催事が業績を牽引、セグメントの増益にも貢献
- 2012年3月期以来の増収 2期連続の増益

ポニーキャニオン

- 映像・音楽の配信やイベント、グッズ販売などが好調でノンパッケージ分野のシェアが拡大し、増収営業増益
- 新規事業撤退で、特別損失計上

ディノス・セシール

- テレビ通販は好調に推移するも、主力のカタログ通販が減収となり、全体で減収減益
- セシール事業は計画未達につき、減損計上

都市開発・観光

サンケイビル/グランビスタ

- サンケイビル: 新規賃貸物件が通期稼働した上、REIT組成等により予想を上回る売却益を計上し、増収増益
- グランビスタ: 一部ホテルの営業終了や事業譲渡、及び台風・地震などの影響で減収営業減益
- セグメント全体は増収増益に

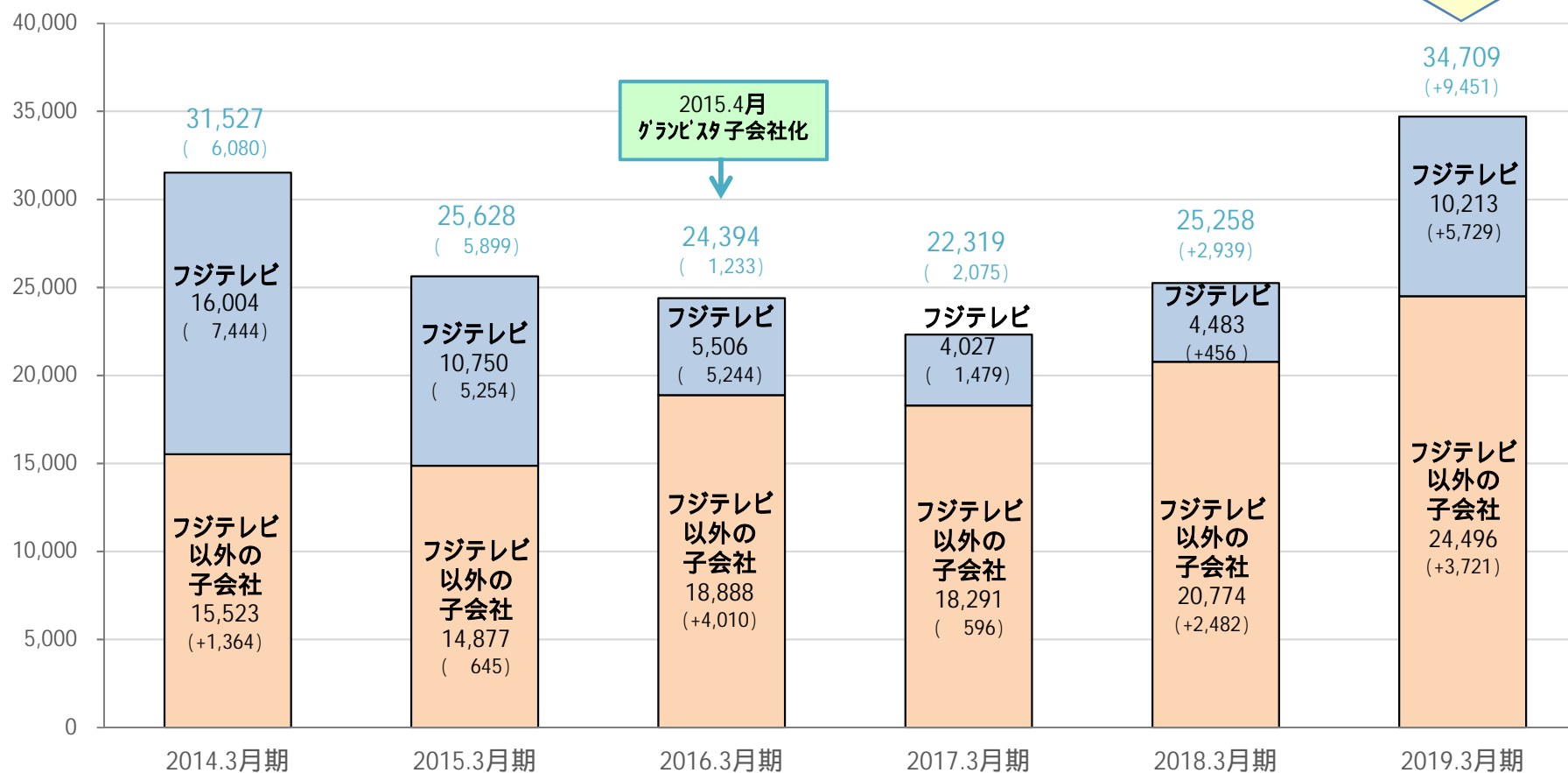
2019年3月期 連結決算概要(年度推移)

年間累計営業利益 直近6年間の推移

フジテレビ以外の子会社:連結営業利益とフジテレビ営業利益の差額

(単位:百万円)

2期連続増益



<セグメント詳細>メディア・コンテンツ事業 会社別概要

2018/4～2019/3

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
フジテレビジョン	260,677	267,970	7,293 (2.8%)	4,483	10,213	5,729 (127.8%)
ビーエスフジ	18,011	18,455	444 (2.5%)	2,601	2,200	401 (15.4%)
ニッポン放送	14,400	14,071	329 (2.3%)	21	43	21 (103.7%)
フジクリエイティブ コーポレーション	14,626	14,638	12 (0.1%)	1,148	1,150	2 (0.2%)
共同テレビジョン	14,394	16,908	2,514 (17.5%)	316	356	40 (12.7%)
ポニーキャニオン	33,587	36,061	2,473 (7.4%)	365	422	57 (15.6%)
ディノス・セシール	113,831	107,881	5,950 (5.2%)	1,281	855	425 (33.2%)
クオラス	44,514	48,679	4,165 (9.4%)	521	790	269 (51.6%)
その他及び セグメント内修正等	18,180	1,900	-	1,099	953	-
合計	532,224	526,568	5,655 (1.1%)	11,839	16,987	5,147 (43.5%)

前期の「その他及びセグメント内修正等」には、前期末に連結子会社の範囲から外れたサンケイリビング新聞社、リビングプロシード、ポニーキャニオンエンタープライズの3社等が含まれています。

<セグメント詳細> 都市開発・観光事業 会社別概要

2018/4 ~ 2019/3

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
サンケイビル	69,009	88,057	19,048 (27.6%)	9,654	15,990	6,336 (65.6%)
グランピスタ ホテル & リゾート	28,152	25,244	2,907 (10.3%)	2,552	1,405	1,146 (44.9%)
その他及び セグメント内修正等	11,778	24,079	-	1,964	633	-
合 計	108,939	137,381	28,441 (26.1%)	14,171	18,029	3,858 (27.2%)

営業外収益・費用の主な内容

2018/4 ~ 2019/3

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
営業外収益					
	受取配当金	2,987	2,943	44	1.5%
	持分法による 投資利益	5,619	3,025	2,594	46.2%
	その他	3,073	3,169	96	3.1%
営業外収益合計		11,680	9,137	2,542	21.8%
営業外費用					
	支払利息	1,204	1,169	34	2.9%
	投資事業組合 運用損	154	122	31	20.4%
	その他	460	579	119	26.0%
営業外費用合計		1,818	1,872	53	2.9%

特別利益・損失の主な内容

2018/4 ~ 2019/3

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期増減	
特 別 利 益				
投 資 有 価 証 券 益 売 却	2,820	1,638	1,181	41.9%
移 転 補 償 金	-	497	497	-
そ の 他	393	297	96	24.4%
特 別 利 益 合 計	3,214	2,433	780	24.3%
特 別 損 失				
減 損 損 失	237	6,326	6,089	-
事 業 撤 退 損	-	816	816	-
事 業 構 造 改 革 損 失	1,661	-	1,661	-
そ の 他	4,375	909	3,465	79.2%
特 別 損 失 合 計	6,274	8,052	1,778	28.3%

フジテレビの業績

2019年3月期 フジテレビ決算概要

2018/4 ~ 2019/3

(単位:百万円)

	前期	当期	対前期増減	
売上高	260,677	267,970	7,293	2.8%
営業利益	4,483	10,213	5,729	127.8%
経常利益	4,829	10,449	5,620	116.4%
当期純利益	2,647	6,936	4,289	162.0%

放送事業 収入と原価

2018/4 ~ 2019/3

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
放送事業収入	218,497	4,304	1.9%
放送収入	186,283	4,402	2.3%
ネットタイム	80,449	592	0.7%
ローカルタイム	13,290	165	1.2%
スポット	92,543	4,828	5.0%
その他 放送事業収入	32,213	98	0.3%
番組販売	16,895	532	3.1%
CS放送・その他	15,318	630	4.3%
放送事業原価	148,286	4,895	3.2%

スポット収入 業種別動向

2019年1月～3月

管理ベース

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
情報・通信・放送	14.6%	15.4%	2.9%
化粧品・トイレタリー	10.3%	10.0%	6.0%
外食・各種サービス	8.9%	9.0%	1.7%
自動車・関連品	8.6%	8.3%	5.9%
金融・保険	7.1%	7.5%	2.7%
食品	6.4%	6.2%	5.7%
出版・エンタテインメント	4.6%	5.4%	12.9%
医薬品・医療用品	4.6%	5.3%	11.5%
交通・レジャー・観光	3.6%	4.6%	25.6%

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
非アルコール飲料	5.8%	4.5%	25.0%
不動産・住宅設備	4.6%	3.9%	18.5%
事務・精密・光学機器	2.4%	3.6%	47.8%
流通・小売業	3.9%	3.6%	12.0%
衣料・身回品・雑貨	4.6%	2.9%	37.8%
電話サービス	3.4%	2.9%	15.1%
アルコール飲料	2.5%	2.1%	18.7%
エネルギー・機械	0.8%	2.0%	137.6%
家電・AV機器	1.0%	1.1%	3.3%
その他	2.2%	1.6%	29.8%

番組制作費

(単位:百万円)

	前期	当期	増減
第1四半期	20,495	19,283	5.9%
第2四半期	20,305	19,259	5.2%
上期	40,801	38,543	5.5%
第3四半期	19,960	18,572	7.0%
第4四半期	19,922	20,571	3.3%
下期	39,882	39,143	1.9%
通期	80,684	77,686	3.7%

自社制作番組及び購入番組の直接費

その他事業 収入と原価

2018/4 ~ 2019/3

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
その他事業収入	49,473	11,597	30.6%
催物事業収入	17,242	7,804	82.7%
映画事業収入	10,600	3,593	51.3%
デジタル事業収入	9,805	594	6.5%
MD事業収入	6,552	1,294	24.6%
ビデオ事業収入	1,531	732	32.3%
その他の収入	3,740	957	20.4%
その他事業原価	38,321	8,152	27.0%

販管費及び営業外損益概要

2018/4 ~ 2019/3

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
販売費及び一般管理費	71,149	1,693	2.3%
販売費	50,856	554	1.1%
一般管理費	20,292	1,138	5.3%
営業費用合計	257,757	1,563	0.6%
営業利益	10,213	5,729	127.8%
営業外収益	539	51	8.7%
営業外費用	304	58	23.7%
経常利益	10,449	5,620	116.4%

2020年3月期 業績予想

業績予想のポイント

中期経営計画2019年度連結経営目標通りの 営業利益285億円を見込む

メディア・コンテンツ

フジテレビ

- 制作費を増額して戦略的に投下、レギュラー番組を中心にタイムテーブルを強化 放送収入の増収を目指す
- 構造改革を継続的に実行、一般管理費等は一層の効率化を図る

ポニーキャニオン

- ライブ事業、海外事業、直販事業などノンパッケージ分野の更なる拡大を目指す

ディノス・セシール

- 更なる媒体の効率化、強化ジャンルの再設定や、EC外部出店を含めたWEBとの融合を推進し、売上高や稼働顧客数の増大を図る

都市開発・観光

サンケイビル/グランビスタ

- サンケイビル: 売却益計画を慎重に見積もり、減収減益を予想
- グランビスタ: 前期末開業のインターゲートホテルズの通期稼働、自然災害の影響からの回復等で増収営業増益を見込む

2020年3月期通期 連結業績予想

2019/4 ~ 2020/3

(単位: 百万円)

	前 期	当 期 予 想	対前期増減	
売 上 高	669,230	639,500	29,730	4.4%
営 業 利 益	34,709	28,500	6,209	17.9%
経 常 利 益	41,975	34,000	7,975	19.0%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	23,627	33,900	10,272	43.5%

地上波テレビ広告収入の通期見込み

2019/4 ~ 2020/3

ネットタイム	ローカルタイム	スポット	放送収入合計
0.7%	1.4%	3.6%	2.0%

(前期比)

2020年3月期通期 セグメント別業績予想

2019/4 ~ 2020/3

(単位:百万円)

	事業セグメント				合計	調整額	連結損益 計算上額
	メディア・ コンテンツ 事業	都市開発 ・観光 事業	その他 事業				
売上高	2020年3月期 通期予想	518,000	112,800	19,600	650,400	10,900	639,500
	2019年3月期 通期	526,568	137,381	19,062	683,012	13,781	669,230
	増減(%)	1.6%	17.9%	2.8%	4.8%	-	4.4%
営業利益	2020年3月期 通期予想	17,900	11,500	500	29,900	1,400	28,500
	2019年3月期 通期	16,987	18,029	555	35,573	863	34,709
	増減(%)	5.4%	36.2%	10.0%	15.9%	-	17.9%

設備投資計画と減価償却費

(単位:百万円)

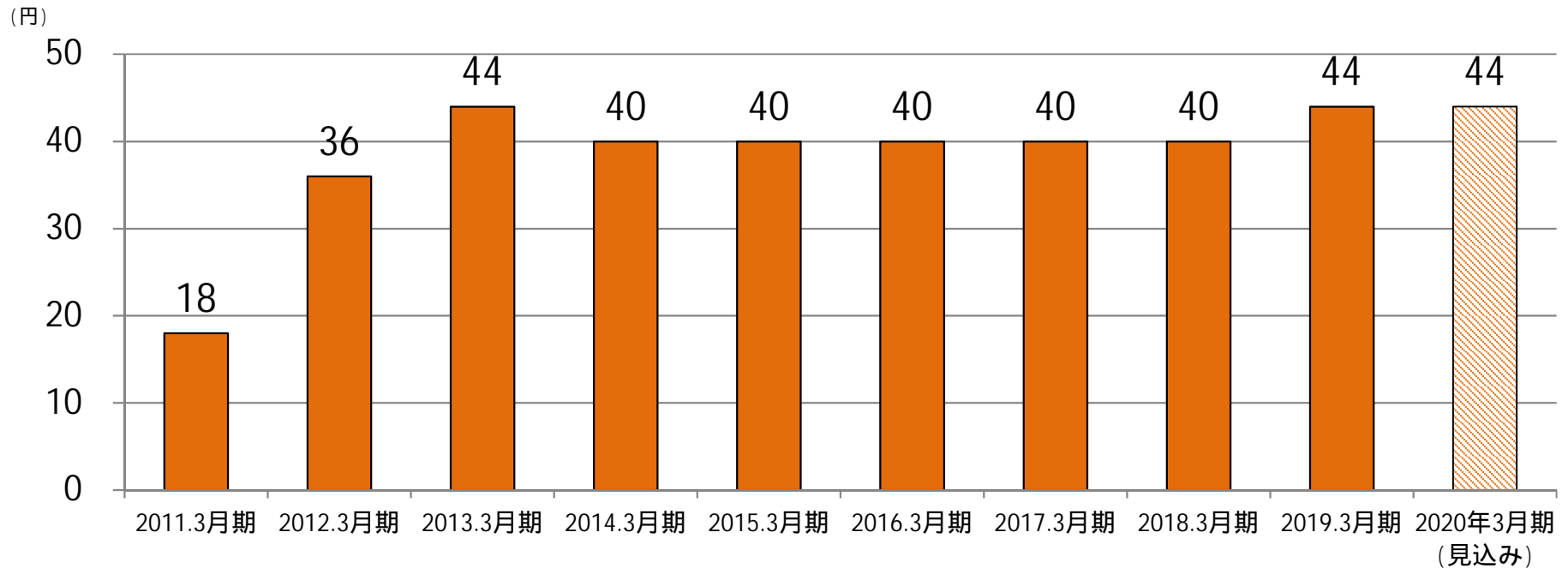
		2019年3月期 通期 (実績)	2020年3月期 通期 (計画)	2021年3月期 通期 (計画)
設備投資額	連 結	74,784	52,900	53,600
	フジテレビ	7,842	10,000	10,000
	都市開発・観光事業	46,581	32,800	39,100
	フジ・メディアHD	14,996	1,100	800
減価償却費	連 結	17,645	17,800	19,200
	フジテレビ	7,134	6,700	7,500
	都市開発・観光事業	5,109	5,600	6,300
	フジ・メディアHD	1,869	2,000	2,000

本社ビル土地(底地)の購入が含まれております。

株主への利益還元

2019年3月期 期末配当 22円 年間配当 44円
2020年3月期 年間配当 44円(見込み)

2019年3月期の期末配当には、普通配当20円以外に認定放送持株会社移行10周年及び(株)フジテレビジョン開局60周年記念配当2円が含まれております。



単元株制度の導入に伴い、2013年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を行いました。過去の配当実績は分割後の株式数で算定した値を記載しています。

セグメント情報(連結子会社)

セグメント	会社名	会社数
メディア・コンテンツ	フジテレビジョン、ビーエスフジ、ニッポン放送、仙台放送、 フジクリエイティブコーポレーション、共同テレビジョン、ポニーキャニオン、 フジパシフィックミュージック、ディノス・セシール、クオラス、扶桑社、 フジゲームス、NEXT EP、フジアール、フジ・メディア・テクノロジー、 共同エディット、バスク、バンエイト、ベイシス、フジ・ミュージックパートナーズ、 エグジットチューンズ、シンコーミュージック・パブリッシャーズ、 ディノス・セシールコミュニケーションズ、FUJI MUSIC GROUP、 ARC/CONRAD MUSIC	25社
都市開発・観光	サンケイビル、グランビスタホテル&リゾート、サンケイビルマネジメント、 サンケイビルテクノ、サンケイビルウェルケア、サンケイ会館、甲子園開発、 サンケイビル・アセットマネジメント、 SKB USA、SKB SEATTLE、SKB PORTLAND	11社
その他	フジミック、ニッポン放送プロジェクト、フジキャリアデザイン、 FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL	4社
合計		40社

参考

2020年3月期 フジテレビ 映画・イベントのラインナップ

映画

5月17日	コンフィデンスマンJP	数々のヒット作を手掛けた脚本家・古沢良太によるオリジナルドラマとして人気を博した2018年4月期9ドラマ「コンフィデンスマンJP」がいよいよスクリーンに！ 出演：長澤まさみ 東出昌大 小日向文世 他
8月9日	劇場版 ONE PIECE STAMPEDE	世界的大人気コミック『ワンピース』のテレビアニメ放送20周年を記念した劇場版最新作 声の出演：田中真弓 中井和哉 岡村明美 他 ゲスト声優：ユースケ・サンタマリア 指原莉乃 山里亮太(南海キャンディーズ)
9月13日	記憶にございません！	これまで日本中にたくさんの笑いと感動を届けてきた三谷幸喜脚本・監督の待望の最新作 映画監督作品8作目となる本作の舞台は“政界”！ 出演：中井貴一 ディーン・フジオカ 石田ゆり子 草刈正雄 佐藤浩市 他
11月1日	マチネの終わりに	芥川賞作家・平野啓一郎の原作を東京・パリ・ニューヨークを舞台に描く切なくも美しい 大人のラブストーリー 出演：福山雅治 石田ゆり子 他
秋	La Vérité (仏題・仮)	『万引き家族』で、カンヌ国際映画祭最高賞のパルムドール受賞！ さらに米国アカデミー賞外国映画賞にノミネートという歴史的快挙を成し遂げた 是枝裕和監督が全編フランスで撮影した最新作！ 出演：カトリーヌ・ドヌーヴ ジュリエット・ピノシュ イーサン・ホーク リュディヴィーヌ・サニエ 他

イベント



企画展『マンモス展』 その「生命」は復活するのか

2019年6月、「マンモス、来日」。

永久凍土から発掘された太古のマンモス。
世界初公開、続々！

2019年6月7日(金)～11月4日(月)
日本科学未来館

福岡・名古屋・大阪にて巡回展開催！



バスキア展 メイド・イン・ジャパン

80年代のニューヨーク・アートシーンを
駆け抜けた、伝説の天才画家
ジャン＝ミシェル・バスキア

日本初の大規模展、開催！

2019年9月21日(土)～11月17日(日)
森アートセンターギャラリー(六本木ヒルズ森タワー52階)
www.basquiat.tokyo

サンケイビル/グランビスタ

ビル事業

ミッドサイズオフィスビル『S-GATE』シリーズなど、ビル賃貸堅調
豊島区が掲げる“国際アート・カルチャー都市”のシンボルとなる
「Hareza池袋」ホール棟が5月に竣工

住宅事業

分譲マンションと賃貸レジデンスをバランスよく開発
市況に左右されにくい、より安定した事業へ

ホテルリゾート事業

全国主要都市を中心に、積極的に優良なホテル開発を展開

『INTERGATE HOTELS』2019年 広島(1/15)・金沢(3/16)開業

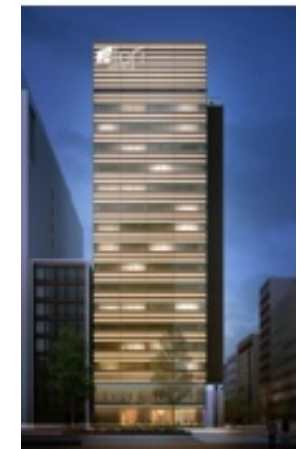
『ALOFT TOKYO GINZA』開発着手
サンケイビルとマリオット・インターナショナルによる
初のパートナーシッププロジェクト 2020年春開業、206室(予定)



Hareza池袋ホール棟エントランス



ホテルインターゲート広島



ALOFT TOKYO GINZA
外観イメージ